

科学と良心（「次の環境」を考えるために）第1回

導 入

アドバンスト・リベラルアーツとは何か

1

担当者

- ・小原 克博
- ・後藤 琢也
- ・石川 正道
- ・廣安 知之
- ・和田 喜彦
- ・櫻井 芳雄

2

講義概要 (シラバスより)

本科目はアドバンスト・リベラルアーツ科目群の基礎科目となる。**アドバンスト・リベラルアーツ**が目指しているものを明らかにすると共に、同志社の教育研究の原点である「**良心**」の視点から、自然科学および人文社会科学を超えて現代科学の課題を抽出し、その課題をめぐって議論を深めていく。

3

4

リベラルアーツ (Liberal Arts) は古代ギリシアの自由七科 (文法学・修辞学・論理学・代数学・幾何学・天文学・音楽) に起源をもっており、自由人が身につけるべき教養と考えられた。13世紀中世ヨーロッパにおいて大学が成立した際には、リベラルアーツの習得が専門学部 (神学・法学・医学) に進むための前提とされた。その後、リベラルアーツは時代と共に変化してきたが、同志社の設立者・新島襄は米国のリベラルアーツ・カレッジを代表するアモスト大学で学び、リベラルアーツの精神は新島の教育理念「自由教育」に大きな影響を与えている。

5

本科目は、こうしたリベラルアーツの歴史を踏まえつつ、それを現代の課題を担いうるものとしてアップグレードすることを目指しており、その意味で「アドバンスト・リベラルアーツ科目群」の導入としての役割を果たしている。こうした新しい教育思想のもと、本科目では、近現代において科学が直面してきた諸問題を、テキストを用いながら「良心」の視点を交え、体系的に学ぶ。

6



2021年
2月17日刊行

7

現代世界が直面している喫緊の課題の一つは環境問題である。しかし、それは技術的な手法によってのみ解決するものではない。「環境」を自然科学が対象とする「自然環境」に限定せず、「社会環境」(法制度など)や「文化的環境」(宗教や倫理など)をも包含し、統合的に理解することによって「**次の環境**」に対する洞察を得ることができる。そのようなチャレンジングな課題に、本科目は取り組むことになる。

8

この授業は**ブレンディッド・ラーニング**として実施される。この授業は、教室での対面授業8回、オンデマンド授業7回によって構成されている。下記「授業計画」において各オンデマンド授業に付されている日付は課題提出の締め切り日を示している（教室での授業はない）。都合のよい時間にオンデマンド動画で学習し、各回で示された課題を期日までにe-class（同志社大学のラーニング・マネジメント・システム）上に提出する（各回とも**土曜日12:00が締め切り**）。

9

また、学びの成果を確認し、理解を深めるために教室での対面授業（ディスカッションを中心とした**アクティブラーニング**）を行う。対面授業は、京田辺キャンパスと今出川キャンパスの両方で行われる。担当者がいるキャンパスが一方に偏ることのないように、また担当者がいないキャンパスにおいても自由に議論ができるように配慮する。

本科目は1週間に2回授業がある形となり、春学期の半分で授業が終了する。

10

ブレンディッド・ラーニングの目的

「工場型」一斉授業（教師主導）

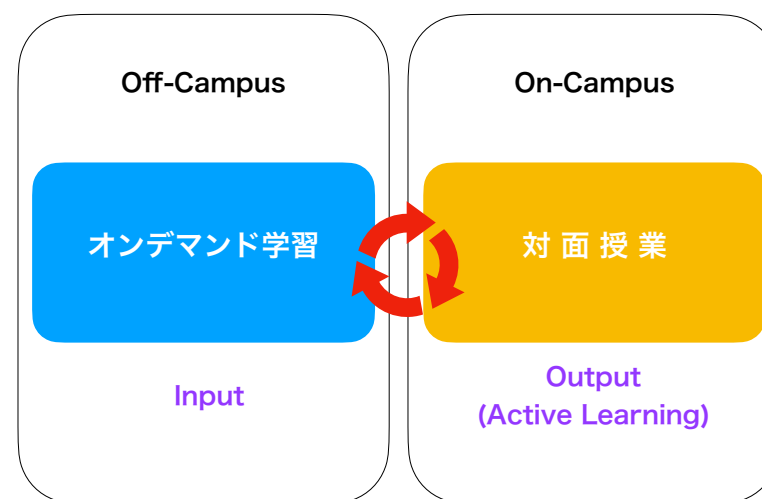


特定の場所・時間からの解放

個別学習 + 学生主導



11



12

1	4/12	(教室1) 導入—アドバンスト・リベラルアーツとは何か (担当者全員)
2	4/17	(オンデマンド1) 科学と良心 (小原)
3	4/19	(教室2) アクティブラーニング (小原)
4	4/24	(オンデマンド2) 環境問題と良心 (小原)
5	4/26	(教室3) アクティブラーニング (小原)
6	5/01	(オンデマンド3) 資源エネルギー問題と良心 (後藤)
7	5/10	(教室4) アクティブラーニング (後藤)
8	5/15	(オンデマンド4) フューチャーデザインと生活者の視点 (石川)
9	5/17	(教室5) アクティブラーニング (石川)
10	5/22	(オンデマンド5) AI・ICTと良心 (廣安)
11	5/24	(教室6) アクティブラーニング (廣安)
12	5/29	(オンデマンド6) 公害事件の本質と良心 (和田)
13	5/31	(教室7) アクティブラーニング (和田)
14	6/05	(オンデマンド7) 健康格差と良心 (櫻井)
15	6/07	(教室8) 総括 (担当者全員)

13

1	4/12	(教室1) 導入—アドバンスト・リベラルアーツとは何か (担当者全員)
2	4/17	(オンデマンド1) 科学と良心 (小原)
3	4/19	(教室2) アクティブラーニング (小原)
4	4/24	(オンデマンド2) 環境問題と良心 (小原)
5	4/26	(教室3) アクティブラーニング (小原)
6	5/01	(オンデマンド3) 資源エネルギー問題と良心 (後藤)
7	5/10	(教室4) アクティブラーニング (後藤)
8	5/15	(オンデマンド4) フューチャーデザインと生活者の視点 (石川)
9	5/17	(教室5) アクティブラーニング (石川)
10	5/22	(オンデマンド5) AI・ICTと良心 (廣安)
11	5/24	(教室6) アクティブラーニング (廣安)
12	5/29	(オンデマンド6) 公害事件の本質と良心 (和田)
13	5/31	(教室7) アクティブラーニング (和田)
14	6/05	(オンデマンド7) 健康格差と良心 (櫻井)
15	6/07	(教室8) 総括 (担当者全員)

課題提出の
締め切り日
(土曜日12:00)

シラバスは金曜日の日付になっているが、間違い。

14

成績評価基準

オンデマンド授業での課題提出 (各回5%×7回)	35%	課題において求められていることを的確に理解し、自分の意見をしっかりと表現してください。
教室での対面授業への出席 (各回5%×8回)	40%	ディスカッションでの積極的な貢献を評価します。なお、10分以上の遅刻は出席としませんのでご注意ください。交通遅延等、不可避の事情があった場合には証明書を出していただければ考慮いたします。
期末レポート	25%	授業全体を通じて学んだことを総括するためのレポートを提出していただきます。

15

アドバンスト・リベラルアーツ とは何か

16

リベラルアーツの歴史

- liberal arts ← artes liberales (アルテス・リベラレス)
- 中世ヨーロッパにおいて、古代ギリシアの学問作法が artes liberales や「自由七科」として概念化された。
- 自由市民（奴隷でない者）が身につけるべき普遍的な教養とされていた。それは職業（生産活動）に結びつく実用的な技能ではなかった。
- 明治期になって、西^{あまね}周が liberal art を「藝術」と訳した。

17

大学の誕生とリベラルアーツ

ユニヴァーシティ（←universitas）の誕生（12世紀のヨーロッパ）

リベラルアーツ（自由7科：文法学・修辞学・論理学・代数学・幾何学・天文学・音楽）

上級学部：神学・法学・医学

18

リベラルアーツの復活

- なぜ長らく失われていたリベラルアーツが復活したのか？
- ルネッサンス以降、キリスト教世界における知の伝統と、イスラーム世界経由で再流入した古代ギリシアの知が交差し、宗教性と世俗性が**緊張を帯びた出会い**をなす。→ 知の爆発

19

ササラ型とタコツボ型

ところが、ヨーロッパではそういう個別科学の根はみんな共通なのです。つまり**ギリシャー中世ルネッサンスと長い共通の文化的伝統**が根にあって末端がたくさん分化している。これがさきほど申しました**ササラ型**ということです。それが共通の根をきりすてて、ササラの上の端の方の個別化された形態が日本に移植されて、それが大学などの学部や科の分類となった。……ここでは大学教授も含めまして、学問研究者が相互に共通のカルチャーやインテリジェンスでもって結ばれていない。おのこの科学をほり下げて行くと共通の根にぶつからなくて、各学科がみんな**タコツボ**になっている。

丸山真男『日本の思想』岩波新書、1961年

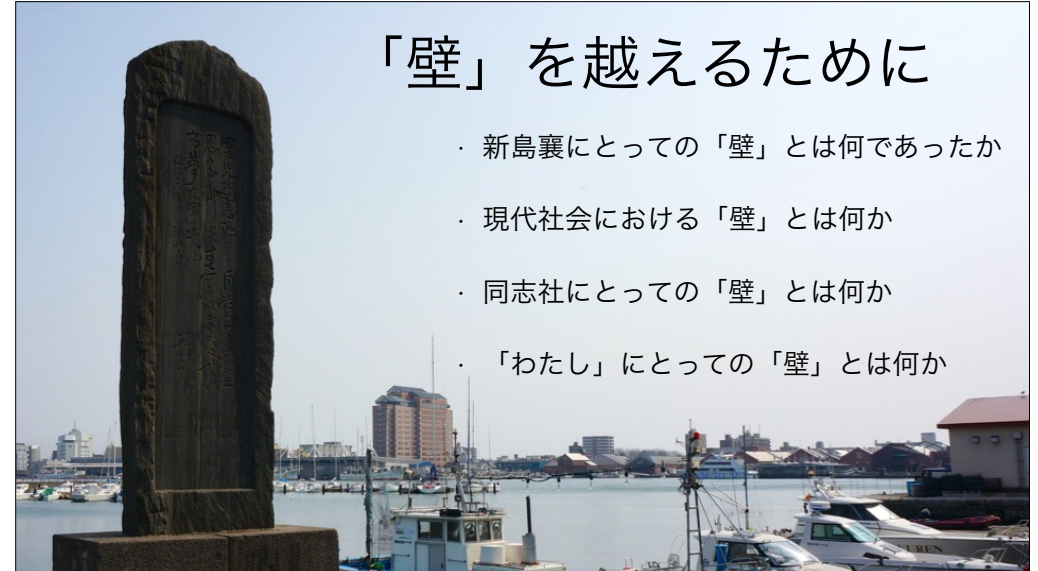


20

リベラルアーツが目指すもの

- ・自由になること
 - ・制約や束縛を認識する。それを固定的なものとして考えない（壁を越える）。
- ・全体性を回復すること
 - ・専門を深めながら、専門を脱する。メタ的な視点から専門を対象化し、他の領域との関係を発見・構築する。

21



「壁」を越えるために

- ・新島襄にとっての「壁」とは何であったか
- ・現代社会における「壁」とは何か
- ・同志社にとっての「壁」とは何か
- ・「わたし」にとっての「壁」とは何か

22

なぜ、アドバンスト・リベラルアーツか

- ・リベラルアーツと実学（ビジネス）との相乗効果（古代ギリシアとの比較！）。
- ・教養教育と専門教育という二元論区別を越える（中世ヨーロッパとの比較！）。両者の継続的・有機的結合。
- ・未来社会、「次の環境」への責任を担う。未来世代と「共に知る」（conscience）（近代以降の現在世代中心主義との比較！）。

23